

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

|                     |  |  |  |            |  |   |         |  |  |
|---------------------|--|--|--|------------|--|---|---------|--|--|
| 事業名                 |  | 山地治山   |  | 路河川名等      |  | —   |         |  |  |
| 事業毎の通番              |  | 6  |  | 市町村名       |  | 南木曾町  |         |  |  |
| 事業目的                |  | 計画地は南木曾町吾妻の妻籠地区の南端にある溪流であり、過去に荒廃した経過後、昭和37年、43年に谷止工2基が施工されている。また、昭和37年施工の谷止工は施工後50年以上が経過し、谷止工堤体の下流面が浸食を受けている。平成26年7月の豪雨災害により溪流上流部において新たな溪岸浸食が発生したが、既設谷止工により流出土砂を捕捉し下流保全対象に被害は生じなかった。しかし、今後の降雨により溪岸浸食の拡大、下流への土砂の流出の危険があることから、谷止工を施工し下流保全対象の保全を図る。 |  | 箇所名(ふりがな)  |  | 米山沢(よねやまさわ)   |         |  |  |
| しあわせ信州創造プランにおける位置付け |  | 4-1地域防災力の向上  |  | 事業実施の根拠法令等 |  | 森林法   |         |  |  |
| 関連する事業、計画等          |  |  |  |            |  |   |         |  |  |
| 保全対象・範囲<br>受益対象・範囲  |  | 人家42戸、公共施設(町道、関西電力(株)妻籠発電所)、一級河川(蘭川)   |  |            |  |   |         |  |  |
| 着手年度                |  | 平成28年度   |  | 事業期間       |  | 2年間   |         |  |  |
| 完成年度(見込み)           |  | 平成29年度   |  | 事業費(千円)    |  | 財源内訳(千円)  |         |  |  |
| 費用対効果               |  | 17.48  |  | 国庫         |  | その他 県債 一般財源   |         |  |  |
| 全体事業内容(主な工種)        |  | 谷止工 3個   |  | 47,100     |  | 23,550 21,195 2,355   |         |  |  |
| 年度事業内容(主な工種)        |  | 谷止工 2個   |  | 28,100     |  | 14,050 12,645 1,405   |         |  |  |
| 事業効果                |  | 直接的効果(定量的・定性的) 人家8戸、公共施設(町道、関西電力(株)妻籠発電所)、一級河川(蘭川)の保全  |  |            |  |   |         |  |  |
|                     |  | 間接的効果(定量的・定性的) 下流保全対象の町道は妻籠宿訪問観光客の散策ルートになっていることから、観光客の観光中における被災危険性の低減。   |  |            |  |   |         |  |  |
| 必要性                 |  | ○人家戸数: 42戸<br>○公共施設数: 2箇所 町道100m、関西電力(株)妻籠発電所<br>○災害時要援護者関連施設の有無: なし<br>○保安林・林業用施設: 保安林率75% 土砂流出防備保安林(S48.3.24)  |  |            |  |   | 評価<br>A |  |  |
| 重要性                 |  | ○過去の災害履歴: あり 平成26年7月豪雨<br>○交通遮断による地域経済への影響: 大 町道は旧中山道妻籠宿における観光客の散策ルートである<br>○地域防災計画上の位置付け: あり 長野県地域防災計画、南木曾町地域防災計画   |  |            |  |   | 評価<br>A |  |  |
| 効率性                 |  | ○費用対効果(B/C): 17.48<br>○事業期間: 2年間 (H28~H29)<br>○工法等の比較検討: あり 既存施設の改修を新設と増厚嵩上げで比較検討<br>○流域の総合調整: あり 治山事業で実施  |  |            |  |   | 評価<br>A |  |  |
| 緊急性                 |  | ○流域の地形、地質: 花崗岩<br>○平均渓床勾配(平均山腹勾配): 13.3°<br>○下流の堰堤等の整備状況: あり 概ね満砂<br>○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域: 土砂災害特別警戒区域(米山沢)   |  |            |  |   | 評価<br>A |  |  |
| 計画熟度                |  | ○事業情報の共有: 関係者を中心に周知<br>○地域の取り組み: 協力的である<br>○地域の合意形成: 合意形成が図られている<br>○住民との協働: 実施計画策定にあたり工事の景観対策について妻籠を愛する会と協議予定   |  |            |  |   | 評価<br>A |  |  |
| 部意見                 |  | 平成26年7月に土砂が流出し、溪流内に不安定土砂として留まっている。放置すれば降雨時に下流保全対象へ落下する恐れがあることから対策工を行う必要がある   |  | 行政改革課意見    |  | 溪岸浸食が進み不安定土砂が堆積している。保全対象には人家、町道等があることから、重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。 |         |  |  |
|                     |  |  |  | 評価結果       |  | 総合評価<br>○ A   |         |  |  |

|                      |  |
|----------------------|--|
| 【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意) |  |
|                      |  |
| 【整備の必要性がわかる状況写真等】    |  |
|                      |  |
|                      |  |
| ①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景  | 事業計画地は五街道の一つである旧中山道妻籠宿にある。妻籠宿の南端にある米山沢は、花崗岩質で地質が脆く過去に荒廃したことから保安林に指定されるとともに谷止工が設置されてきた。また、米山沢の出口付近は土砂法に基づく土石流の特別警戒区域に指定されている。平成26年7月の豪雨災害時には、溪岸浸食の発生と下流への土砂流出が確認されている。溪岸浸食の進行による土砂流出が懸念されることから、治山事業の施工により住民の安全・安心を図る。 |
| ②地域からの要望経緯及び地域の関わり   | 平成26年7月14日、豪雨災害後の現地調査により溪岸浸食、土砂流出が確認される。平成27年5月に南木曾町から治山事業の要望あり。   |
| ③事業説明等の経緯            | 平成27年7月に南木曾町を通じ地元地区に計画概要について情報提供。  |
| ④他事業・プロジェクトとの整合、関連   | 特になし。  |
| ⑤自然環境・生活環境への影響と配慮    | 計画地のうち溪流下流部の谷止工については旧中山道から見えることから、施設本体、並びに施工中の景観保全対策について(財)妻籠を愛する会との協議により工法、施工方法を検討する予定。施設整備あつては木製残存型枠等、景観保全に資する工法を積極的に計画する。   |
| ⑥地域活性化への影響と配慮        | 保全対象の町道は妻籠宿と馬籠宿を結ぶ旧中山道であり、観光客の通行も多い。また、事業実施にあたり施設への着色等の可否について、妻籠宿の街並み保存、景観保全活動に取り組んできた(財)妻籠を愛する会と協議をする予定。  |
| ⑦その他                 | 事業代表地点の緯度経度<br>北緯:N 35° 34'23"<br>東経:E 137° 35'46"   |